

座長・演者へのご案内

1. 進行情報

セッション	テーマ	発表	質疑	総合 討論
シンポジウム1	MES検索を識る	12分	3分	—
シンポジウム2	大動脈弓・頸動脈プラークの検出（各種 modalityの比較）	12分	3分	—
シンポジウム3	COVID-19あるいはそのワクチンに関連する血栓症	17分	3分	—
シンポジウム4	脳血管内治療に必要な脳神経超音波検査	12分	3分	—
シンポジウム5	日本で生まれた脳神経超音波“サイン”、“スコア”	6分	2分	—
シンポジウム6	がん関連血栓症（Cancer Associated Thrombosis）	12分	3分	—
シンポジウム7	超音波治療の現状と展望：血栓を溶かす！ふるえを治療する！	※	※	—
シンポジウム8	脳・心連携による脳卒中診療	12分	3分	—
シンポジウム9	うちではこう書いています！神経筋超音波検査レポートの書き方	15分	3分	—
一般演題1～11	—	6分	2分	—

※事前にご案内している時間配分となります。

2. 現地参加の座長・演者へのご案内

1) 座長の皆さまへ

- ・座長受付は行いません。
- ・ご担当セッション開始の10分前までに、会場内右手前方の「次座長席」にご着席ください。
- ・予定時間内に終了できますよう、進行にご協力ください。

2) 発表者の皆さまへ

①データの受付

- (1) 各会場の左手前方のオペレーター席にて、発表データを登録してください（本会ではPCセンターは設けておりません）。なお、別々の会場で複数回ご発表される場合につきましては、それぞれの会場にて発表データの登録をお願いいたします。
- (2) 発表データは、PC本体を持参されるか、メディア（USBフラッシュメモリー）で持参ください。
- (3) 動画を使用する場合やMacintoshで発表される方は必ずご自身のPCを持参ください。またWindowsであっても、特殊なフォント、アプリケーションの使用がある場合は、ご自身のPCを持参ください。

【メディアをお持込みになる場合】

- a) 使用可能なメディアは、USBフラッシュメモリーのみです。
- b) 当日発表されるデータ以外は入れないようにしてください。
- c) アプリケーションソフトは、Windows版PowerPoint2019をご用意いたします。動画データがある場合、Windows Media Player12の初期コーデックで再生可能なもの（WMV形式推奨）のみとします。
- d) 講演会場にはワイドサイズのスクリーン（16:9）をご準備しております。標準サイズ（4:3）のデータもご利用いただけますが、ワイドサイズ（16:9）での作成を推奨します。
- e) 使用フォントは、特殊なものでなく、OS:Windows10標準搭載のものをご使用ください。
日本語推奨フォント：MSゴシック、MSPゴシック、MS明朝、MSP明朝など
英語推奨フォント：Arial、Arial Black、Century、Century Gothic、Times New Romanなど
- f) 保存時のデータファイル名は、「演題番号_演者名」としてください。
- g) メディアを介したウイルス感染の事例がありますので、事前に最新のウイルス駆除ソフトでチェックしてください。
- h) コピーミスを防ぐため、データコピー作成後、他のパソコンで正常に動作するかチェックしてください。
- i) メディアは受付後にご返却いたしますが、念のため、発表時に持参ください。
- j) 発表は演台に設置されているキーボードとマウスで操作してください。
- k) 発表に使用したデータは本会終了後、本会事務局にて責任を持って消去いたします。
- l) 発表用データに他のデータ（動画・静止画・グラフ等）をリンクさせている場合は、リンクしているファイルをパワーポイントファイルと同一フォルダに保存し、他のPCでの動作確認を行ってください。
- m) 発表スライドの1枚目は、表題スライド（演題名・演者名等）にしてください。
- n) スムーズな進行のために、発表者ツールの使用はご遠慮ください。

【PCをお持込みになる場合（Windows、Macintoshとも可能）】

- a) コネクタの形状は、ミニD-sub15ピンとHDMIです。外付コネクタを必要とする場合は、必ずご自身で持参ください。また、ACアダプターは、必ずご用意ください。
- b) 発表中にスクリーンセーバーや省電力機能が作動しないように設定してください。
- c) スリープからの復帰時、起動時のパスワードは解除しておいてください。
- d) ご自身のPCと共に、バックアップ用のデータ（USBフラッシュメモリー）を持参ください。
- e) PC受付にて受付・試写終了後、発表時間の30分前までに発表者ご自身で発表会場のPCオペレーター席（会場左手前方）にPC本体をお持ちください。発表は演台に設置されているキーボードとマウスを使用してください。
- f) PCは発表終了後、各会場内のPCオペレーター席で返却いたします。

②利益相反の開示

産学連携による研究には、学術的・倫理的責任を果たすことによって得られる成果の社会への還元（公的利益）だけではなく、産学連携に伴い取得する金銭・地位・利権など（私的利益）が発生する場合があります。これら2つの利益が研究者個人の中に生じる状態を利益相反（Conflict of Interest: COI）と呼びます。

本会で発表を行う方には、今回の発表内容について各学会のCOI規則をご確認の上、筆頭著者の利益相反状態の有無を開示していただきます。

一般社団法人 日本脳神経超音波学会 COIに関する規則

http://neurosonology.jp/aboutjan/img/COI_JAN.pdf

日本栓子検出と治療学会 COIに関する規則

<http://www.congre.co.jp/2022jan-embolus/files/saisoku.pdf>

*当日の発表スライドの2枚目以降に筆頭著者のCOI申告書スライドを1枚挿入してください。ただし、社会通念上少額と見なされる場合は申告不要です。

*「有」を選択の場合には、企業名を含めて作成ください。

*開示事項のある内容についてのみ記載ください。

3. Web参加の座長・演者へのご案内

本会ホームページの「座長・演者へのご案内」ページに、【座長演者用Zoomマニュアル】を掲載しております。

1) Zoom発表会場への入室方法

①事前に運営事務局より、Zoomの「テスト接続用URL」と「本番用招待URL」をお送りします。

1セッションにつき1つ個別のURLが発行されます。複数のセッションでお役目がある場合は、URLはセッションごとに異なります。あらかじめZoomアプリを立ち上げ、ご自身のアカウントにてサインインをしたうえで、セッション開始「30分前」までに、「テスト接続用URL」にご入室ください。Zoomアプリは、最新のものにアップデートをお願いいたします。

②オペレーターからの説明後、「本番用招待URL」をクリックし、入室してください。招待URLのパスワードは埋め込みとなっておりますので入力不要です。入室時には必ず、お送りするメール本文に記載の本番用招待URLを直接クリックして、そのまま入るようにしてください。別ウインドウで立ち上がるZoomのミーティングID欄にURLをコピーペーストして入室してしまうと、視聴者として認識され、発言者側のサイトに入室できなくなります。

2) 座長の皆さまへ

①セッション開始30分前までに入室ください。

オペレーターからの説明後、準備が整い次第、本番用招待URLにご移動いただきます。セッション開始までは、本会指定のスライドが表示されます。セッション開始直前に開始スライドが入ります。その後、座長と演者の画面に切り替わりましたら、座長の先生はセッションを開始してください。

②ご担当セッションの進行は、座長の裁量にお任せします。原則として、計時進行のベルは鳴りません。発表・質疑応答も含めてセッションの終了時間を厳守してください。

③現地参加者による質問は会場内マイクから口頭で、Web参加者による質問はZoomウェビナーのQ&A機能にて受け付けます。

3) 演者の皆さまへ

①セッション開始30分前までに入室ください。オペレーターからの説明後、準備が整い次第、本番用招待URLにご移動いただきます。セッション開始までは、本会指定のスライドが表示されます。セッション開始直前に、開始スライドが入ります。その後、座長と演者の画面に切り替わりますので、座長の先生のご発声後、セッション開始となります。

②ご自身で発表スライドを共有いただきます。セッション開始前に、予め発表スライドのファイルを開いておき、座長の紹介後、すぐにご自身の発表ができるように、Zoomの画面共有の準備と音声ミュートを解除する準備をしておいてください。

計時進行のベルは鳴りませんので、時間厳守をお願いいたします。発表が終了次第、速やかに資料の画面共有を停止し、音声をミュートにしてください。

③利益相反の開示

産学連携による研究には、学術的・倫理的責任を果たすことによって得られる成果の社会への還元（公的利益）だけではなく、産学連携に伴い取得する金銭・地位・利権など（私的利益）が発生する場合があります。これら2つの利益が研究者個人の中に生じる状態を利益相反（Conflict of Interest: COI）と呼びます。

本会で発表を行う方には、今回の発表内容について各学会のCOI規則をご確認の上、筆頭著者の利益相反状態の有無を開示していただきます。

一般社団法人 日本脳神経超音波学会 COIに関する規則

http://neurosonology.jp/aboutjan/img/COI_JAN.pdf

日本栓子検出と治療学会 COIに関する規則

<http://www.congre.co.jp/2022jan-embolus/files/saisoku.pdf>

*当日の発表スライドの2枚目以降に筆頭著者のCOI申告書スライドを1枚挿入してください。ただし、社会通念上少額と見なされる場合は申告不要です。

*「有」を選択の場合には、企業名を含めて作成ください。

*開示事項のある内容についてのみ記載ください。

④オンライン発表時のTips

- ・ 図示は、ポインタ機能ではなく、なるべく口頭で行ってください。
- ・ 演者ツールや外部モニターの使用は避けてください。
- ・ 発表の際、ご自身や視聴者の環境により、動画が乱れる（カクカクとコマ落ちする）場合があります。急な動きを伴う動画では著しく画質が低下いたしますので、あらかじめご了承ください。

⑤共有資料等への配慮

学会でのオンライン発表は自動公衆送信による再送信とみなされるため、他人の著作物の無断使用とならないよう、引用として出典を明確にしてください。

演者が企業の方の場合、大学でも受諾研究・共同研究などで、事前に発表の形式、聴衆の範囲などの許可を取っている場合でも、開催形式がオンライン発表に切り替わった場合には再度の許可手続きが必要になる場合があります。特に輸出貿易管理令に抵触する場合などではオンラインでの配信は許可されないこともあるので、演者は十分に注意してください。本会では、上記に起因するトラブルに対しては一切の責を負わないことにご留意ください。

4. 発表演題の英文抄録提出について

第41回日本脳神経超音波学会総会／第25回日本栓子検出と治療学会において演題をご発表の方は、英文抄録を機関誌Neurosonologyに掲載いたしますので、英文抄録連絡票および英文抄録を、要領に従って作成し、2022年6月末日までにE-mailで下記、機関誌編集室までお送りください。

なお、提出された英文抄録は、体裁を整えるために、予告なしに改変する場合があります。また、機関誌編集の都合上、締切を過ぎて提出された英文抄録は、掲載されない場合があります。ご了承ください。

1) 英文抄録作成要領

- ・ 所定のテンプレート「英文抄録連絡票および英文抄録」をご使用ください。
テンプレートは、一般社団法人日本脳神経超音波学会ホームページ「機関誌・刊行物」のページよりダウンロードいただけます。
- ・ 英文抄録連絡票には、連絡担当者の必要事項をご記入ください。
- ・ 英文抄録には、抄録本文のほか、「演題番号」、「演題名」、「全演者の氏名および所属」をご記入ください。
- ・ 原則として、Microsoft Wordで作成してください。フォントは、MS明朝体、Times(英文)をお使いください。
- ・ 文書ファイル名に演題番号を挿入してください。
- ・ 抄録本文の長さは200語以内として、キーワードを3語以内で抄録本文の末尾に記入してください。

2) 送り先

一般社団法人日本脳神経超音波学会機関誌編集室
英文抄録受付担当 中田恵子
E-mail : neurosonology@jikei.ac.jp

3) 英文抄録の掲載

ご提出いただいた英文抄録は、Neurosonology第35巻第2号（2022年8月末付発行、J-STAGE公開9月末予定）に掲載いたします。